

総合病院来年度予算編成

問 インターネットで1月から1名医師確保が出来たと聞いたが4月以降常勤医師が10名前後では医業費用の大幅な減額をしないと一般会計からの赤字補填が本年度の約11億円を大幅に上回る恐れがあり、来年度予算編成で費用の減額をするのか、現状維持のまま一般会計からの補助でいくのか

答 現在の病院状況を考えると、18年度も医業収益の大幅な減少が想定され、病院を存続する以上、経費の節減にも限界があり、来年度も一般会計から支援をいただきたい。基本的に最悪でも今年度並みに抑えたいが、それには、1日も早く医師確保が必要であり、医師確保に全力を尽くします。当初予算案を議会に提出するまでに、病院経営のシ

ミュレーションを示します。

問 来年度も4月から10名以上の医師が確保出来なければ、本年度以上の巨額な赤字が予想され、この赤字を一般会計から赤字補填すれば当然他の事業等に影響が出ると思いますが、これからの赤字補填の財源は

答 病院運営のために多額な赤字補填が必要となっており、来年度についても先ほど申したように今年度並みに支援を必要と考えています。その財源には、今年度榛原病院へ一般会計の病院費から7億円余の支出をしましたが、来年度はこれが4千万円余となります。これを病院会計へ支援財源としてもう1年使い、一般会計への影響を最小限にとどめたいと思います。

プルサーマル問題について

問 市長の考えは

答 ウラン資源に恵まれないわが国が、ウラン資源の有効利用を図る上で意味のあるものと認識しています。安全性の確保と市民の理解が重要であると考えています。

問 安全協定を見直す考えは

答 事前了解という条項がなくとも重要な事項については事前協議をいただく事で運用してきている事から、直ちに見直しを必要とする事項であるとは考えておりません。今回のプルサーマルの件につきましても、許可申請前には市の全員協議会に諮り、ご意見をいただきたいと考えています。

問 市立病院の医師不足の問題がある中、意思表明の時期は

答 病院の設立の経緯を考えますと、プルサーマル問題と全く無関係であるとは思っておりません。医師不足の解決には全力をあげて努力しております。その認識の上で国の厳正な安全審査の結果が段階で皆さんの意見を聞き判断をしていきたいと思えます。

松くい虫対策について

問 今年度は特に松くい虫被害の松が多いが今後の対策は

答 海岸防災林の関係者で構成する「松くい虫等被害対策検討委員会」を組織し、この問題についてご協議をしていただき、海岸に近い松林を保護すべき最重要松林と位置付け、この区域を最優先に駆除をし、来年度以降は植生転換や、松くい虫に強い松の植林の検討を図っていきます。